ISSN 1881-283X

陸の水

No.91

日本陸水学会東海支部会
ニュースレター（2021 年 7 月 14 日）
発行：日本陸水学会東海支部会
連絡先：〒501-6021 岐阜県各務原市
川島笠田町官有地無番地
国立研究開発法人土木研究所
自然共生研究センター
松澤　優樹
Tel:0586-89-6036、Fax: 0586-89-6039
E-mail: matsuzawa-m573bs@pwri.go.jp

目次

■ 2021 年度年間スケジュール　（p. 1）
■ 第 17 回陸水サマースクールの開催について　（p. 2）
■ 第 38 回東海陸水談話会の案内　（p. 3）
■ 2020 年度「研究助成」対象発表　（p4）
■ 編集後記　（p.4）

2020 年度年間スケジュール

本年度の日本陸水学会東海支部会の主な行事の日程を幹事会において決定しました。各行事の詳細は、開催が近づきましたら、適宜陸の水ニュースレターおよびホームページにてお知らせいたします。皆様、ご予定を確認のうえ、ぜひご参加ください。

行事名	日程	開催地
第 38 回 東海陸水談話会・カンボジア・トンレサップ湖における水環境と人間生活	7 月 16 日(金)18:00～	椙山女学園大学 教育学部 理科室
ため池の自然研究会との合同談話会・見学会	9 月 11 日(土)	未定
第 39 回 東海陸水談話会	10 月未定	未定
第 40 回 東海陸水談話会（陸水物理学会との連携）	11 月 20 日(土)	南山大学
第 23 回研究発表会 第 24 回総会	2 月 19 日（土）～ 20 日（日）	未定

第 17 回陸水サマースクールの開催について

例年，日本陸水学会東海支部会では夏季にサマースクールを開催しており，陸水や水辺の環境などに関連するフィールドでの宿泊を伴う体験イベントを実施してまいりました。2019年度には，富山の農家や黒部ダムの訪問などを通じて，農村での生活体験や水利用などを体験いただきました。2020年度には，岐阜県水産研究所の岸 大弼氏より，下呂周辺での体験イベントを企画いただいておりました。しかしながら， 2020年８月には愛知県独自の緊急事態宣言が発出されるなど，新型コロナウイルスの感染拡大を受けて，残念ながら中止となりました。

2021年度においても，改めて企画を練り，実施を検討しておりました。しかしながら，まだなお続く感染拡大，変異種への対応など様々な観点から，状況はまだまだ予断を許さないことが予想され，本年度も中止の判断といたしました。楽しみにされていた方々には，ぜひ，来年こそは！と思いでお待ちいただければ幸いです。

ワクチン接種の進捗状況により，地域間の移動が徐々に可能になってきたとはいえ，まだまだ，コロナの収束には時間がかかるものと思われます。いまこそ，「身近な」水辺の発見からはじめ，「私だけのとっておき」をみつけてください。東海地方には素晴らしい水辺がたくさんあります。東海支部会では，適地をお探しでしたら支部会のネットワークにて情報収集も可能ですのでお声がけください。私自身もいろいろと探したいと思います。

サマースクール行事担当　大八木　英夫

皆様もぜひ「私だけのとっておき」を見つけてみてください。

ISSN 1881-283X

カンボジア・トンレサップ湖における水環境と人間生活

講演者：大八木　英夫 准教授

南山大学　総合政策学部・総合政策学科
専門：環境科学・自然地理学・水文学

トンレサップ湖にて船から水温計測をする大八木博士

カンボジアのトンレサップ湖は東南アジア最大の湖です。カンボジアでは，モンスーン（季節風）の影響のため，雨の降る季節（雨季：5月～10月）と降らない季節（乾季：11月～4月）とが毎年およそ6カ月ごとにくりかえしやってくるため，日本とは異なった季節感によって生活が営まれております。アジア有数の大河メコンとトンレサップ川によってつながるこの湖は，メコン河の水量の増減によって，湖にメコン河から水が流れ込む時期と，逆に湖からメコン河へ水が流れ出る時期とがあり，それにともなって湖の深さは最低0.5mから最高8.5mまで，そして面積は約2,500 km^{2}から20,000km^{2}へと劇的に変化します。カンボジアの人々は，太古から現在にいたるまでこの湖とともに文化を築いてきたといえるでしょう。今回は，トンレサップ湖の現在の水環境について，これまでの調査の成果をまとめ，そこでの人々の生活について報告いたします。

カンボジアの雨季と乾季の景観の違い

雨季

乾季

雨季

乾季

それぞれ大八木氏提供

第38回 東海陸水談話会

主催：日本陸水学会東海支部

開催日時：令和3年 7 月 16 日（金）18時から20時

場所：椙山女学園大学 教育学部 理科室で予定していますが，状況により開催方法が変更になる場合があります。

詳細は学会HP（こちら）にて案内いたします。

- 当日はYouTubeにてオンライン配信予定です。
- 参加者はこちらもしくは横のQRコードより参加登録お願いいたします。特に，オンラインでの参加を希望される方は事前に参加登録をしていただいた後，メールにて参加urlを送ります。
- 会場（上記理科室）の場所が不明な方は，当日17時50分に教育学部棟前までお越し下さい。担当者が会場までご案内いたします。
- 本講演会は土木学会継続教育（CPD）プログラム（1.5単位）となります。オンライン参加でのCPD登録をご希望の方は，受講後に「受講して得られた所見（学びや気付き）を100文字以上で主催者に提出していただきます。

会場アクセスや接続などの問題の問い合わせ先
「副会長　松本 ymatsu@toyota-ct.ac.jp

2021年度「研究助成」対象発表

2021年度日本陸水学会東海支部会研究助成の募集に対して、計2件の申請を頂きました。支部会幹事による審査の結果、2件に対して各5万円の助成を行うことを決定しましたので、ここでご報告いたします。

1. 研究タイトル：「浜名湖のカレニア ミキモトイの増殖調査と牡蠣斃死対策試験」
   助成対象者：辻野兼範

2. 研究タイトル：「日本・世界農業遺産「静岡水わさびの伝統栽培」の伝承と持続的な活用－地域の水わさび生産が抱える課題解決と生物多様性を育む農法の調査－継続研究」
   助成対象団体：静岡県立田方農業高等学校　わさび研究班

（編集後記）

陸の水 NL 編集担当の松澤です．今年度のサマースクールも、残念ながら開催を見送ることとなりました．それでも、今年度はため池の自然研究会や陸水物理学会とのコラボ企画も予定しておりますので、期待していただけたら嬉しいです．

談話会について、今年度は 3 回、オンラインを併用しての開催を予定しています．一回目は、7 月 16 日(金)に南山大学の大八木英夫先生に東南アジア最大の湖、トンレサップ湖の水環境について講演していただきます．トンレサップ湖を含むメコン川流域は日本の水環境と比較して、規模や水質、魚類相などが大きく異なります．例えば、常に水の色が茶色であったり、日本では見られないような派手な魚や大きな魚が多数生息しているなど、とっても興味深い水環境が形成されています．そんな水域で実際に調査している研究者の声が聞けるのはとても楽しみですね．

（松澤 優樹）